

令和6年度 第2回嘉麻市文化財保護審議会議事録（要点筆記）

1. 審議会等の名称「令和6年度 第2回 嘉麻市文化財保護審議会」
2. 開催日時：令和7年3月17日（月） 14時00分～15時30分
3. 開催場所：嘉麻市役所 碓井総合庁舎 第2研修室
4. 公開又は非公開の別：公開
5. 出席者
委員：嶋田光一（会長）、長谷川清之（副会長）、石瀧豊美、小林知美、佐々木隆良、竹川克幸、氷室崇元
執行機関：教育長：木本寛昭、生涯学習課長：末永康洋、生涯学習課長補佐：松浦宇哲、文化推進係：尾方禎莉
6. 傍聴人数：0人
7. 次第
開会のことば
 1. 教育委員会あいさつ
 2. 会長あいさつ
 3. 議事・報告
(1) 令和6年度文化財保護事業報告等について（資料1）
(2) 令和7年度文化財保護事業計画案について（資料2）
4. その他
閉会のことば

【 会 議 録 】

○議事・報告

(1) 令和6年度事業報告等について

第6次教育アクションプランに基づき、「1. 郷土の歴史文化を守る事業」、「2. 郷土の歴史文化を伝える事業」、「3. 郷土の歴史文化拠点施設活用事業」の3事業について報告
(主な報告内容)

- ・ 沖出古墳葺石補修工事の内容説明
- ・ 桑野の梯橋の応急保全業務及びクラウドファンディング結果の内容説明
- ・ 沖出古墳特別公開の参加者数が過去最高となった。
- ・ YouTube 動画の制作状況及び視聴回数の報告
- ・ 新規事業である古文書講座の受講状況の説明
- ・ 田中松月資料を活用した常設展示改修により碓井平和祈念館の人権研修が増加

(主な質疑応答)

①桑野の梯橋保存の今後の進め方について

- ・ 事務局：地元と協議しながら保存活用計画を策定していく必要がある。
⇒審議会：文化財部門以外の河川関係部署等の協力も幅広く得ながら進めてほしい

②YouTube 動画の制作について

- ・事務局：年 2 本を基本とし、1 本は国庫補助事業を利用して主要遺跡の紹介動画、もう 1 本は嘉麻市の民話を題材として完全手作りで制作、民話の視聴回数が多い。

③古文書の整理及び古文書講座の展望について

- ・事務局：職員の減少等を踏まえ、ボランティアとして古文書整理に携われる人材育成を視野に入れて進めている。現状、マンパワーが足りず、古文書整理も課題が多い。
⇒審議会：古文書整理は市の方針・計画を定めて体系的に実施していくのが好ましい。
⇒審議会：大学でも地域への社会貢献活動が求められるようになっているので、マンパワー不足を補う手段として大学との連携も検討してほしい。

(2) 令和 7 年度事業計画案について

第 6 次教育アクションプランに基づき、「1. 郷土の歴史文化を守る事業」、「2. 郷土の歴史文化を伝える事業」、「3. 郷土の歴史文化拠点施設活用事業」の 3 事業の計画案について報告

(主な報告内容)

- ・沖出古墳葺石補修工事計画
- ・桑野の梯橋の模型製作及びワークショップの計画
- ・沖出古墳ブックレット（春・秋の沖出古墳特別公開で配布）の増刷計画
- ・碓井平和祈念館の戦後 80 年企画展の計画（「語り伝える戦争の話」をベースに構成）
- ・古文書講座の計画
- ・碓井平和祈念館収蔵資料（近代の書簡、文書等）のアーカイブ化計画

(主な質疑応答)

①旧家が所蔵する古文書等の資料について

- ・事務局：地元で家族、親族が住まなくなり、取り壊しされるケースもある。また、事前に資料調査に行っても、多量の資料を受け入れる場所がなく、大きな課題と感じている。
⇒審議会：嘉麻市は、飯塚市よりもまだ古い家屋が多く残っている印象がある。取り壊す前に教育委員会に一報をいれてもらう仕組みづくりが必要である。
広報であったり、地元の寺院等に声かけしたりすることも手段として大事である。

②文化観光まちづくりについて

- ・事務局：現在、総合政策課、産業振興課と連携して地域の歴史・文化資源を活かしたまちづくり構想の策定に取り組んでいる。豊臣秀吉にまつわる伝説や国道 211 号線沿いの文化財、酒蔵などを観光等に活かしていく方針である。

上記に相違ないことを確認する。

令和 7 年 3 月 28 日

(会議録確認者)

嘉麻市文化財保護審議会 会長 嶋田光一